

# 次世代育成支援事業報告書事業報告書

市町村老連名 岡山市老人クラブ連合会

実施クラブ名 吉備支部陵南小学校区

## ① 地域の概況

岡山市の北区西南部に位置する陵南学区には、北に大吉備津彦命のお墓と伝えられている、宮内庁管理下の「吉備中山茶臼山古墳」等の史跡が存在している。

【通称は「御陵」と呼ばれている】また、「岡山県古代吉備文化財センター」や、「黒住教」もある吉備の中山が北端に位置している。

その麓を東西に新幹線が走り、南に広がる吉備の沃野を旧国道 2 号線や山陽本線が同じく東西に走っている地域にある。

昔は備前国と備中国の境界となっていた境目川が、今でも学区のほぼ中央部を南北に流れる農業用水路として、その名残をとどめている。

この地域は、米作りやい草の栽培を中心として栄えた純農村地帯であったが、近年の都市化により岡山市近郊の住宅地として著しく発展して、大幅に人口が増大している。

そのために、東は岡山市立西小学校から花尻・白石地区並びに久米地区の一部が、西は吉備小学校から東花尻・西花尻並びに平野地区の一部が、それぞれ分離・合併して、御陵の南に位置する事から新校名の「陵南小学校」が、昭和 55 年に誕生、34 年が経過した。

現在でも、まだ住宅開発が進み社会的に児童数が減少傾向にある中で、陵南学区の世帯数は約 4000 世帯・陵南小学校の児童数は、約 900 名と増加傾向を示している。

また、陵南幼稚園は昭和 63 年、吉備第 3 保育園は平成 23 年にそれぞれ開園した。

## ② 活動状況

・昭和 55 年に陵南小学校が開校し、併せて陵南学区連合町内会も発足した。住宅開発が進行するとともに、住宅・人口も増加し発足時は10町内会であったが、現在は13町内会で、約4900世帯となっているが新興住宅団地町内会が多く、半数以上を占めている

・老人クラブは、11 単位クラブで陵南学区老人クラブ連合会を形成して学区内の各組織と連携を深める中で、ボランティア活動を中心に吉備中学校・陵南小学校・陵南幼稚園、吉備第 3 保育園等の、諸行事に参加して「地域・学校・町内会」と三者一体となって、年間活動を展開している。

地域住民のみんなが、安全・安心の町づくり活動に積極的に貢献をする中で、老人クラブはその中心的役割を果たし活動を展開する組織として、自分達が住んでる町は、住んで良い・住んで良かったと次代を引き継いでいく子ども達が誇れるような、町づくりに努めている。

・陵南小学校児童の下校の安全を見守る「あったかかえる隊」が学校・PTA を中心に、平成18年 1 月に発足して、はや 8 年目の活動に入っている。老人クラブも、発足と同時に活動を支援することとして取り組みを開始し、学区内の各定点ポイントに立って、子ども達の下校状況を見守り「お帰り」声掛けを行っている。

子ども達は、毎日の下校途中を爺ちゃん・婆ちゃんが見守ってくれているという、安心感・信頼感を持つ事も出来て地域の絆も更に深まっている。「緑色のブルゾン」を着て、見せる防犯活動で不審者(車)不審物はないか、危険な箇所はないか等もチェックをしながら活動を継続している。

※1か月平均 一日8名×20日 合計 約延160名

・地域の絆を深めて地域ぐるみで、事故犯罪の起きにくい地域づくり、安全・安心の町づくりに努めている。

・陵南小学校 1 年生の昔遊び授業が、10 月 4 日と 17 日にそれぞれ1時間あり、学区内各種組織から110数名の協力者が参加した。

授業内容は、こま回し・竹馬・けん玉・お手玉・あやとり・まりつきなどで、老人クラブは2日間で、延べ30数名が参加して核家族化が進み、世代間の交流が薄れてきている中で、子ども達に昔あそびを通じ子ども達や若い世代の保護者に、地域の高齢者と一緒にふれあう事で、より一層に地域への関心を深めてもらえたと思っている。

- ・学区内単位クラブに於いては町内会と共催して、公園の草取り・クリスマス会・お飾り作り・餅つき大会・連珠大会等「あったかかえる隊支援活動」を通じて顔見知りとなった子ども達とのふれあいの場・支援の場がスムーズに盛大に開催出来ている。
- ・陵南学区体育協会と共催の「三世代交流グラウンド・ゴルフ大会」は平成20年度から開催、本年度は第4回大会を11月25日【日】に開催した。  
参加は全体で約100名(子どもは20名)、今後も継続して開催をしていく。

- ・岡山市などでつくる実行委員会主催「わくわく子どもまつり In 岡山ドーム」11月4日【日】開催へ、岡山市老人クラブ代表として陵南学区老人クラブが参加した。

子育て支援グループ・青少年育成団体などが、岡山ドーム内に45ブースを設けて、ステージではうらじゃ踊りなどが披露され、子ども服やおもちゃなどの、フリーマーケット、うどんやフランクフルトなどの屋台もあり、子ども達の人気を集め終日親子連れで賑わった。

陵南学区老人クラブは、お手玉・けん玉・こま回し・竹とんぼ・竹馬等の昔遊びコーナーを担当し、AM 8:00 ~ 15:00 まで子ども達と夢中になって一緒にふれあいを楽しんだが、一番人気は竹馬で順番待ちが、たびたび発生した。

遊具は、すべて陵南小学校の教材をお借りした。

このまつりは、子ども達に多彩な遊びを体験してもらうとともに、会場内には子育て情報コーナーも設けられて、支援情報の発信を狙いとして開催された。

### ③ 活動の効果

- ・地域に開かれた活力ある学校づくりを目指している陵南小学校行事等を、側面から老人クラブ活動の展開によって支援・バックアップしているが、この事により子ども達の郷土(町内会等)愛を多少でも支援・育成出来ていると思っている。
- ・11月29日(木)午後から各クラブの会長に呼びかけ、陵南小学校の中庭花壇を耕し整備作業を行ったが、各学年の子ども達は三々五々休憩時間に、「きれいにして下さり、ありがとうございます」と、きちんと整列をして挨拶に来た。  
先生に指示をされたのではなく、自分達で自主的に挨拶が出来る事は本当に素晴らしい事と思った。
- ・地域との繋がりが段々と無くなって核家族化が進行している現在、昔から吉備地域で大事にされている名所・旧跡が多いので、子ども達との話し合いの機会を多くする事によって、地域行事等への関心を今以上に高めてやりたい。
- ・子ども世代とは全く考え方が違う大人の世代と接する機会が多くなる事によって、子ども達も老人クラブ員との対話が出来るようになってきた。

- ・また登校時、上級生は下級生の面倒見が良くなったし、朝の挨拶も以前より一段と良く出来るようになった。
- ・学童の安全下校見守り活動を毎日継続することによって、顔見知りとなり子ども達との距離感がお互いに無くなり地域活動を通して連携がより深まり、ふれあいが一層強くなった。このことは、「あったかかえる隊」支援活動を継続している事による、大きな成果だと思っている。

#### ④ 課題・問題

- ・陵南学区コミュニティ協議会の中では、連合町内会の基として各組織とのコミ等が十分に機能して、すばらしい地域活動が展開出来ていると思っているが、反面、子ども達の横のつながり不足が感じられた。  
それは、家庭での時間外塾学習やスポーツ教室参加活動等のために、地域活動へ参加したくても、参加が出来ない子どもが多い事が分かった。
- ・老人クラブは、地域貢献活動を色々と展開したいが、少ない年間経費では限度があり、行事等企画したくても経費が伴うため出来ない事もあり残念である。

#### ⑤ 今後の進め方

- ・子ども達が心豊かに落ち着いて生活が出来る、地域環境整備については今後も継続し老人クラブとして出来る範囲で、知恵と力を出したい。  
地域の名所旧跡を学習素材として有効活用し、子ども達が地域を愛する事が出来るように、側面からの支援活動は継続したい。
- ・単位町内会でのお祭りなど、昔からの伝統の地域行事の伝承については地域活性化の最大場として、三世代間交流が更に深まるよう配慮したい。
- ・今後も、次世代育成支援活動を強力に継続推進をして、豊かな人づくり、地域づくりに務めていきたい。